

費用の助成について

妊婦健康診査

妊娠中、県内の医療機関において14回の妊婦健康診査を受けることができます。母子健康手帳交付時に妊婦健康診査受診票をお渡しします。

※県外で里帰り出産をご希望の方は、早めにご相談ください

多胎妊婦健康診査

多胎（双子、三つ子等）を妊娠中、県内の医療機関において、14回の妊婦健康診査に加え、5回分の健診費用を助成します。母子健康手帳交付時に多胎妊婦健康診査受診票をお渡しします。

妊産婦アクセス支援事業

遠方の医療機関で健診や出産する必要がある妊産婦等に対して移動にかかる交通費等の一部を助成します。

対象	自宅（または里帰り先）から最寄りの分娩取扱施設（医学上の理由等により、周産期母子医療センターで出産する必要がある妊産婦は、最寄りの周産期母子医療センター）まで概ね60分以上の移動時間を要する妊産婦。
申請期間	健診日や出産日から1年に達する日までに申請のこと。

RSウイルス感染症
母子免疫ワクチンの定期接種

令和8年度から、妊婦の方へのRSウイルス感染症の予防接種が、定期接種の対象になりました。

母子免疫ワクチンとは

妊婦が接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時から病原体に対する予防効果を得ることができます。

RSウイルス感染症とは

特に小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスで、2歳までにほぼ全ての乳幼児がRSウイルスに少なくとも1度は感染するとされています。感染すると発熱・鼻水・咳などの症状が出現し、初めて感染した乳幼児の約7割は軽症で数日のうちによくなりますが、約3割では咳が悪化し、重症化することがあります。

RSウイルス母子免疫ワクチンの定期接種

対象	妊娠28週0日～36週6日まで（※接種日時点）の妊婦
実施場所	山口県内の広域予防接種協力医療機関（産婦人科等）

※里帰り出産等のため、県外医療機関で接種を希望される方は、必ず接種前に健康増進課へご相談ください。

窓口

●0820-73-5504（健康増進課 健康づくり班）

山口県にお住まいの方限定

小児科医・産婦人科医・助産師に
スマホで無料相談できます

子どもの肌荒れがなかなか良くならない
どうしたら良い？

妊娠してから便秘と腰痛が辛い
改善策や使える薬を知りたい

下痢で保育園をお休みしたけど
登園可能となる目安を教えてください

母乳が足りているか心配
ミルクは追加が必要？

いつでも相談

毎日24時間受付

原則24時間以内返信



ウェブサイトからテキスト相談

夜間相談

平日18時～22時

1枠10分の予約制

LINEのチャット/音声通話/
ビデオ通話/電話

日中助産師相談

平日13時～17時

予約なし



助産師とLINEチャット

まずはLINEの友だち追加を！



会員登録に必要な合言葉

こども家庭センターまで
お問い合わせください
TEL 0820-77-5508